

* 被災地に民間の物資ターミナルを設置、配送開始！

岩手県消団連が事務局機能を果たしている「暮らしを考えるネットワーク」と「いわて食・農地域を守る県民運動」の構成団体等がいわて労連の呼びかけに応じて、民間レベルの「東日本大震災岩手県共同対策本部」を立ち上げ、行政の縦ラインと併せて民間のネットワークを活用した横ラインで、隙間のない支援活動を目指すことになりました。

農産物を作っている農民連や商売・流通にかかわっている商工団体連合会等、物を動かしている団体の動きは早く、全国から大量の支援物資が届けられました。息の長い取り組みが必要なので、県レベルで全体の一時保管倉庫をJAから無料で借り受け、被災地に支援物資ターミナルを作り、きめ細かい支援を目指して動き出しました。

岩手県消団連やいわて生協も参加、交流と分担をしながらそれぞれの得意分野を有機的に組み合わせて活動しています。早速、岩手県商工団体連合会に「全国肉牛事業協同組合」から牛肉提供の申し入れがあり、県行政のセンターにつないだところ、生ものは無理と断れたのを、共同対策本部の中でいわて生協だと牛丼の炊き出し等で対応できるかもしれないと動き出しました。その結果、組合員ボランティアを募って炊き出しをすることになり、720kgの牛肉とそれに必要な野菜やこんにゃく等が全国肉牛事業協同組合からいわて生協に贈られ、今週末と来週末、温かい牛丼1万食を避難している方々に食べていただけることになりました。春休みのため、子どもに体験させたいと親子の炊き出しボランティアの申し込みもあり「何かしたい」と思っている内陸の組合員の気持ちが形になりました。



被災を免れた宮古の民商会館がターミナルに！



2時間半並んで漸く自家用車のガソリンを満タンに出来たので、3月29日、農民連の物資トラックとともに会員団体で足のない新婦人の会長や母連の事務局長を乗せて盛岡市を出発、被災地を宮古市から南下して陸前高田市まで400km走破しました。宮古市より北をのぞき、被災地全体の概要をつかむことが出来ました。これでもかと言うほど被害の実態を見て、改めてこれからの復興への道筋、支援のあり方を考えました。

千年に一回といわれる太平洋プレートの大規模なズレのすごさ、津波の破壊力は想像以上で、テレビの映像を超えた立体の体感でした。津波の動きは非情で、川をさかのぼった強い波は「こんな山の中なのにどうして？」と言うほど内陸まで破壊していました。1 mの差が明暗を分け、広範囲で瓦礫となった地域の家や工場をどう作り直すのか、政府の支援の具体化が待たれます。が、これからも実態を全国に発信したいと思います。

* 被災地で喜ばれたもの！課題は・・・

地域の7割が流失した陸前高田市では、臨時のターミナルになっている、前市長の中里さんの自宅にいたスタッフが「あ～卵の箱がある！何日ぶりの卵だ～」と大変な喜びようでした。ボランティアがゆで卵にしたり卵焼きにしたりしていつもの避難所の食事にプラスαになったり、煮炊きが出来た避難所ではメニューに加わったりと喜んでもらえそうでした。女性からは、下着をまめに取り替えられないので、せめてパットを使って毎日使い捨てに出来ないかと要望が出されたそうです。

今の被災地の課題は、自宅が使える状態だとそこに引きこもるお年寄り等をどう地域でつかんで、そこに継続的に食料を届けられるかと言うことでした。車にいろいろ積んでスピーカーで流す案も出されています。

新婦人と母連の役員と一緒にだったので、一番ひどかった陸前高田市の会員の安否確認も出来ました。私も、学習会の講師に呼んでもらったり、要請の窓口になってもらったりと一番お世話になった市民課の女性職員の方が死亡確認されたと聞いて涙が出ました。消費者行政活性化で中里市長に要請に行った時に話したのが最後になりました。

県の「消費生活審議会」でご一緒し、いろいろお世話になった長里前市長も、病気を押し自宅を開放し、引き継いだ現戸羽市長を支えたいと頑張っていました。鳥羽市長は、奥さんが行方不明でも気丈に陣頭指揮をし、積極的に全国に発信を続けています。

* 被災地の灯油・ガソリンは今・・・

残念ながら、被災地が困らないほどに潤沢にはいきわたっていません。盛岡市から沿岸の宮古市に通ずる国道106号線にあるガソリン給油所は1ヶ所も開いていませんでした。人がいるところは「緊急車両のみ」の手書きの紙が張ってありました。

宮古市内は1時間待ち、大船渡市は数台並んでいる程度、陸前高田市はドラム缶で特別支援があつて灯油はかなり改善し、ガソリンも臨時給油体制で何とか回り始めたという事でした。

盛岡は休業スタンドがあるものの、数台待ちで給油できるようになりましたが、価格が140円ぐらいから160円に近くなり、地域経済がますます落ち込む中、今後の懸念材料です。

地元の内閣府の平野副大臣に燃料問題で要請していたのに返事をもらいましたが、前年比で灯油は100%、ガソリンは65%まで回復した出荷状況との事でした。